

## 平成27年度 松原市民アンケート調査結果

【アンケート送付数】 1000 人

【回答者総数】 442 人

★はじめに、あなたご自身のことについておたずねします。

問1 あなたの性別は (回答者数 431人)

1. 男性	186 人	42.1%
2. 女性	245 人	55.4%
3. 無回答	11 人	2.5%

問2 あなたの年齢は (回答者数 433人)

1. 20歳代	39 人	8.8%	5. 60歳代	86 人	19.5%
2. 30歳代	60 人	13.6%	6. 70歳代	87 人	19.7%
3. 40歳代	78 人	17.6%	7. 80歳以上	12 人	2.7%
4. 50歳代	71 人	16.1%	8. 無回答	9 人	2.0%

問3 あなたご自身も含め、あなたの世帯人数は (回答者数 431人)

1. 単身世帯	55 人	12.5%	5. 5人世帯	28 人	6.3%
2. 2人世帯	139 人	31.4%	6. 6人以上の世帯	15 人	3.4%
3. 3人世帯	108 人	24.4%	7. 無回答	11 人	2.5%
4. 4人世帯	86 人	19.5%			

問4 あなたご自身も含め、ご家族の中に次の方はいらっしゃいますか。(該当する番号すべてに○を)

(総回答件数 255人 回答者数 239人)

1. 小学校に入学する前の子ども	39 人	15.3%
2. 小学生・中学生	55 人	21.6%
3. 65歳以上のご家族	161 人	63.1%

問5 あなたの職業は (○は1つだけ) (回答者数 428人)

1. 自営業	50 人	11.3%	5. 家事専業	63 人	14.3%
2. 勤め人	134 人	30.3%	(専業主婦・主夫)		
3. 学生	10 人	2.3%	6. 無職	104 人	23.5%
4. パート・アルバイト	67 人	15.2%	7. 無回答	14 人	3.1%

問6 あなたはどの地域にお住まいですか（○は1つだけ）

（回答者数 434人）

1. 丹南	10人	2.2%	16. 天美西	19人	4.3%
2. 岡	18人	4.1%	17. 天美南	24人	5.4%
3. 新堂	11人	2.5%	18. 天美北	19人	4.3%
4. 立部	18人	4.1%	19. 東新町	18人	4.1%
5. 上田	25人	5.7%	20. 南新町	12人	2.7%
6. 阿保	22人	5.0%	21. 北新町	21人	4.8%
7. 西大塚	6人	1.4%	22. 大堀	5人	1.1%
8. 西野々	3人	0.7%	23. 別所	9人	2.0%
9. 柴垣	9人	2.0%	24. 一津屋	25人	5.7%
10. 田井城	16人	3.6%	25. 小川	6人	1.4%
11. 高見の里	22人	5.0%	26. 若林	2人	0.5%
12. 河合	13人	2.9%	27. 三宅東	4人	0.9%
13. 松ヶ丘	12人	2.7%	28. 三宅中	18人	4.1%
14. 天美我堂	27人	6.1%	29. 三宅西	7人	1.5%
15. 天美東	33人	7.4%	30. 無回答	8人	1.8%

■■■■■■■■■■ 「人権問題についておたずねします」 ■■■■■■■■■■

[問1] わが国の憲法では、基本的人権（人間が生まれながらにしてもっている権利）が保障されています。この基本的人権を守っていくことについて、あなたのお考えに近い番号を1つ選んでください。

(回答者数 399人)

1. 基本的人権が守られた社会を具体的に実現するべきである	251 人	56.8%
2. あくまで理想であり、現実にそぐわない	64 人	14.5%
3. 国・府・市の財源を使う対策ではない	18 人	4.1%
4. 考えたことがない・わからない	66 人	14.9%
5. 無回答	43 人	9.7%

[問2] あなたは日本の社会に、次のような差別があると思いますか。ア～スのそれぞれについて  
あなたのお考えに近い番号を1つ選んでください。

	そう 思う	まあ そう 思う	ど ちら とも い え な い	そ う あ ま り 思 わ な い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答	合 計
ア. 女性に対する差別	74 人	116 人	92 人	92 人	38 人	10 人	20 人	442 人
	16.7%	26.2%	20.8%	20.8%	8.6%	2.3%	4.6%	100.0%
イ. 障害者に対する差別	113 人	126 人	77 人	57 人	39 人	9 人	21 人	442 人
	25.6%	28.5%	17.4%	12.9%	8.8%	2.0%	4.8%	100.0%
ウ. 在日外国人に対する 差別	75 人	112 人	106 人	63 人	35 人	29 人	22 人	442 人
	16.9%	25.3%	24.0%	14.3%	7.9%	6.6%	5.0%	100.0%
エ. 同和地区に対する 差別	66 人	81 人	100 人	70 人	51 人	49 人	25 人	442 人
	14.9%	18.3%	22.6%	15.9%	11.5%	11.1%	5.7%	100.0%
オ. 子どもに対する差別	28 人	32 人	99 人	122 人	108 人	30 人	23 人	442 人
	6.3%	7.3%	22.4%	27.6%	24.4%	6.8%	5.2%	100.0%
カ. 高齢者に対する差別	39 人	55 人	109 人	111 人	85 人	23 人	20 人	442 人
	8.8%	12.5%	24.7%	25.1%	19.2%	5.2%	4.5%	100.0%
キ. HIV感染者やハンセ ン病や結核などに対する 差別	75 人	92 人	92 人	49 人	41 人	70 人	23 人	442 人
	17.0%	20.8%	20.8%	11.1%	9.3%	15.8%	5.2%	100.0%
ク. 犯罪被害者やその家 族が犯罪行為によって受 ける直接的な被害だけで なく、その後のマスコミ の取材や報道によるプ ライバシー侵害	163 人	133 人	52 人	18 人	12 人	43 人	21 人	442 人
	36.9%	30.1%	11.8%	4.1%	2.7%	9.7%	4.7%	100.0%
ケ. アイヌの人々に 対する差別	32 人	24 人	75 人	72 人	50 人	165 人	24 人	442 人
	7.3%	5.4%	17.0%	16.3%	11.3%	37.3%	5.4%	100.0%
コ. 野宿生活者に対する 差別	68 人	115 人	97 人	38 人	27 人	74 人	23 人	442 人
	15.4%	26.0%	21.9%	8.6%	6.1%	16.8%	5.2%	100.0%
サ. 性的マイノリティ (少数派・弱者)とされ る人々に対する差別	68 人	82 人	102 人	45 人	20 人	101 人	24 人	442 人
	15.3%	18.6%	23.1%	10.2%	4.5%	22.9%	5.4%	100.0%
シ. 刑を終えて出所した 人に対する差別	81 人	120 人	94 人	25 人	18 人	84 人	20 人	442 人
	18.3%	27.1%	21.3%	5.7%	4.1%	19.0%	4.5%	100.0%
ス. 就労形態による差別	76 人	116 人	110 人	41 人	26 人	50 人	23 人	442 人
	17.2%	26.2%	24.9%	9.3%	5.9%	11.3%	5.2%	100.0%

[問3] 女性に対する人権についておたずねします。あなたは次のような意見についてどのように思われますか。ア～エのそれぞれについて、あなたのお考えに近い番号を1つ選んでください。

ア. 女性に関することで、あなたが人権上、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。

(回答者数 425人)

1. 男女の固定的な役割分担意識 (男は仕事、女は家庭などといった考え方)	67人	15.2%
2. 職場における待遇の違い (採用時の男女差、仕事内容の男女差、昇給昇進などの男女差)	92人	20.8%
3. 家庭内における夫から妻への暴力	51人	11.5%
4. 職場におけるセクシュアル・ハラスメント(性的な嫌がらせ)	37人	8.4%
5. 家事に対して社会的・経済的評価が低いこと	76人	17.2%
6. アダルトビデオ・ポルノ雑誌など女性のヌード写真や映像の商品化	17人	3.8%
7. 特にない・わからない	85人	19.3%
8. 無回答	17人	3.8%

イ. 女性の人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。

(回答者数 426人)

1. 女性のための人権相談や電話相談を充実させる	30人	6.8%
2. 女性の人権を守るための広報活動を推進する	15人	3.4%
3. 結婚、出産、介護、育児などに関係なく生涯をとおして女性が働ける環境を整備する	226人	51.2%
4. 公的機関や企業が採用・登用などで女性の参画を促進するための措置を積極的に講じる	35人	7.9%
5. 女性に対する犯罪の防止や取り締まりを強化する	50人	11.3%
6. マスコミが紙面・番組・広告などの内容に配慮する	20人	4.5%
7. 特にない・わからない	50人	11.3%
8. 無回答	16人	3.6%

ウ. 育児や家事や介護は、男性も女性も平等に行った方がよい。

(回答者数 428人)

1. そう思う	181人	40.9%
2. まあそう思う	143人	32.3%
3. どちらともいえない	72人	16.3%
4. あまりそう思わない	25人	5.7%
5. そう思わない	7人	1.6%
6. 無回答	14人	3.2%

エ. 夫が暴力を振るうのは、振るわれる妻が悪いので多少は我慢すべきだ。

(回答者数 426人)

1. そう思う	6人	1.4%
2. まあそう思う	9人	2.0%
3. どちらともいえない	92人	20.8%
4. あまりそう思わない	41人	9.3%
5. そう思わない	278人	62.9%
6. 無回答	16人	3.6%

【問4】 障害者に対する人権についておたずねします。あなたは次のような意見についてどのように  
思われますか。ア～エのそれぞれについて、あなたのお考えに近い番号を1つ選んでください。

	そう 思う	ま あ そ う 思 う	ど ち ら と も い え な い	そ あ ま り 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答	合 計
ア. 障害のある人も、自由に街に出かけたり、地域の催し物等に参加するように努力すべきである。	151人	128人	117人	17人	12人	17人	442人
	34.2%	29.0%	26.5%	3.8%	2.7%	3.8%	100.0%
イ. 誰でも事故や病気ですぐ後遺症をもつか分からないから、障害者問題は自分たちの身近な問題である。	289人	108人	21人	4人	3人	17人	442人
	65.4%	24.4%	4.8%	0.9%	0.7%	3.8%	100.0%
ウ. 障害者の社会参加をはばむ心の壁（偏見や差別）をなくすのは、私たちの責任である。	173人	149人	77人	8人	17人	18人	442人
	39.2%	33.7%	17.4%	1.8%	3.8%	4.1%	100.0%
エ. 障害者のための施設が地域に設置されようとしたとき、地域住民が反対するというようなことが時々あるが、やむを得ない。	17人	51人	162人	90人	104人	18人	442人
	3.8%	11.5%	36.7%	20.4%	23.5%	4.1%	100.0%

[問5] 外国人に対する人権についておたずねします。あなたは次のような意見についてどのように思われますか。ア～ウのそれぞれについて、あなたのお考えに近い番号を1つ選んでください。

	そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	合計
ア. 外国人であるという理由で、家主が、賃貸マンションを貸すことを拒否することは家主の自由だ。	66 人	109 人	149 人	47 人	54 人	17 人	442 人
	14.9%	24.7%	33.7%	10.6%	12.2%	3.9%	100.0%
イ. 外国人という理由で、就職が困難であったり、労働条件で不当に扱われるのは差別だ。	106 人	162 人	105 人	32 人	22 人	15 人	442 人
	24.0%	36.6%	23.8%	7.2%	5.0%	3.4%	100.0%
ウ. 日本に住む外国人なら日本の文化や習慣にあわせるべきである。	86 人	145 人	130 人	43 人	24 人	14 人	442 人
	19.5%	32.8%	29.4%	9.7%	5.4%	3.2%	100.0%

[問6] 同和問題についておたずねします。あなたは次のような意見についてどのように思われますか。ア～エのそれぞれについて、あなたのお考えに近い番号を1つ選んでください。

	そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	合計
ア. 部落差別はいけないことだが、私とは関係のない話だ。	49 人	73 人	164 人	62 人	76 人	18 人	442 人
	11.1%	16.5%	37.1%	14.0%	17.2%	4.1%	100.0%
イ. 部落差別を許さない態度を身につけることは、他の人権問題にもプラスになる。	88 人	133 人	138 人	28 人	35 人	20 人	442 人
	19.9%	30.1%	31.2%	6.4%	7.9%	4.5%	100.0%
ウ. 基本的人権に関する問題であり、市民一人ひとりが取り組む問題である。	97 人	163 人	105 人	27 人	27 人	23 人	442 人
	21.9%	36.9%	23.8%	6.1%	6.1%	5.2%	100.0%
エ. 「差別、差別」と騒がないで、そっとしておいた方がよい。	113 人	125 人	123 人	36 人	29 人	16 人	442 人
	25.6%	28.3%	27.8%	8.1%	6.6%	3.6%	100.0%

[問7] 大阪府では1985年10月に施行し2011年3月に改正（10月施行）された「大阪府部落差別事象に係る調査等の規制等に関する条例」では、部落差別事象につながる個人および土地に関する事項の調査、報告の行為を規制しています。あなたは、この条例を読んだことがありますか。  
次の中から1つ選んでください。

(回答者数 423人)

1. 広報紙、冊子などで読んだことがある	42 人	9.5%
2. 条例があるのは知っていたが読んだことがない	95 人	21.5%
3. 条例があるのも知らないし、読んだこともない	286 人	64.7%
4. 無回答	19 人	4.3%

[問8] あらゆる人権問題に関するものとして「身元調査」があります。あなたのご自身や家族の結婚に際して「身元調査（聞き合わせも含む）」をされましたか。また、されますか。  
次の中から1つ選んでください。

(回答者数 420人)

1. 身元調査をした。または、する予定	36 人	8.1%
2. 私は不本意であったが、家族がした	27 人	6.1%
3. 身元調査をしなかった。または、しない	357 人	80.8%
4. 無回答	22 人	5.0%

[問9] あなたは、身元調査を受けた体験や問い合わせを受けた体験がありますか。  
次の中から1つ選んでください。

(回答者数 423人)

1. 自分自身が身元調査を受けた	31 人	7.0%
2. 家族や親戚で身元調査をされたものがある	24 人	5.4%
3. 身元調査の問い合わせを受けたことがある	34 人	7.7%
4. まったく体験したことはない	334 人	75.6%
5. 無回答	19 人	4.3%

[問10] 身元調査に関するあなたのお考えに近いものを1つ選んでください。(回答者数 415人)

1. 結婚・就職などに際し、必要である	42 人	9.5%
2. 身元調査はいけないことであるが、そのときになってみないとわからない	284 人	64.3%
3. 身元調査は絶対にすべきではない。身元調査をなくす運動をみんなで進めることは大変良い	89 人	20.1%
4. 無回答	27 人	6.1%

[問1 1] 人権尊重のまちづくりをすすめていくために、今後も、市はどのようなことを行うことが特に重要だと思いますか。あてはまるものを3つまで選んでください。

(総回答件数 724人 回答者数 415人 無回答 27人)

1. 人権問題について話し合う委員会や審議会などを設置し、 市民参加をすすめる	126人	17.4%
2. 人権啓発にかかわる指導者やリーダーを養成する	80人	11.1%
3. 講演会や研修会などの内容の充実に努め、参加機会を増やす	169人	23.3%
4. 学校における人権教育の内容の充実に努める	210人	29.0%
5. 人権啓発のパンフレットや冊子などを定期的に発行したり、 広報紙に掲載する	139人	19.2%

〔問1 2〕 子どもに対する人権についておたずねします。あなたは次のような意見についてどのように思われますか。ア～ウのそれぞれについて、あなたのお考えに近い番号を1つ選んでください。

	そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	合計
ア. 親が、子どもを叩いたり、体罰を加えることも時には必要だ。	60 人	125 人	100 人	67 人	73 人	17 人	442 人
	13.6%	28.3%	22.6%	15.2%	16.5%	3.8%	100.0%
イ. 親は、子どもの意見を尊重することは大切だが、大事なことについては、親が正しい答えを示す必要がある。	237 人	126 人	45 人	6 人	13 人	15 人	442 人
	53.6%	28.5%	10.2%	1.4%	2.9%	3.4%	100.0%
ウ. 保護者が子どもの様子を知るためでも子どもの手紙や日記、メールなどを勝手に見ないほうがよい。	144 人	117 人	98 人	37 人	30 人	16 人	442 人
	32.5%	26.5%	22.2%	8.4%	6.8%	3.6%	100.0%

〔問1 3〕 高齢者の人権についておたずねします。あなたは次のような意見についてどのように思われますか。ア～エのそれぞれについて、あなたのお考えに近い番号を1つ選んでください。

	そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	合計
ア. 加齢などに伴う衰えが生じても、本人が望めば、長年親しんだ地域で暮らすべきだ。	181 人	149 人	85 人	8 人	4 人	15 人	442 人
	41.0%	33.7%	19.2%	1.8%	0.9%	3.4%	100.0%
イ. まちや建物のづくりは高齢者に対する配慮に欠けている。	111 人	130 人	118 人	54 人	14 人	15 人	442 人
	25.1%	29.4%	26.7%	12.2%	3.2%	3.4%	100.0%
ウ. 認知症の人のための施設が地域に設置されようとしたとき、地域住民が反対するというようなことが時々あるが、やむを得ない。	27 人	66 人	158 人	77 人	99 人	15 人	442 人
	6.1%	14.9%	35.8%	17.4%	22.4%	3.4%	100.0%
エ. 高齢者が長年培ってきた知識や経験を活かす場を広げるべきだ。	215 人	156 人	33 人	10 人	7 人	21 人	442 人
	48.6%	35.3%	7.4%	2.3%	1.6%	4.8%	100.0%

[問14] ヘイトスピーチについてお伺いします。

ア. いわゆる「ヘイトスピーチ・デモ」を実際にまたは動画で見たことがありますか？

(回答者数 411人)

1. はい	108 人	24.4%	「はい」の場合は、→「イ」へ
2. いいえ	303 人	68.6%	
3. 無回答	31 人	7.0%	

イ. あなたは、それを見てどう思いましたか？(自由意見 抜粋)

- ・一方的で自己本意の考えと、それに賛同する人がいる事が不思議
- ・自由に発言する場所がないのじゃない。
- ・あまりいい感じではない。
- ・発言の自由が許される社会は素晴らしい。
- ・否定的にとらえている。見苦しい。
- ・人権差別をあからさまに表現している内容だったので不愉快に感じた。

ウ. 言論・出版の自由や結社の自由、表現の自由など憲法で保障されていますが、ヘイトスピーチを許さないために差別表現、扇動活動を何らかの形で制限する法整備が必要と思いますか？

(回答者数 388人)

1. はい	123 人	27.8%
2. いいえ	37 人	8.4%
3. わからない	222 人	50.2%
4. その他	6 人	1.4%
5. 無回答	54 人	12.2%

[問15] LGBTについてお伺いします。

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない	無回答	合計
ア. レズビアンのことを理解できる。	52 人	93 人	45 人	33 人	190 人	29 人	442 人
	11.8%	21.0%	10.2%	7.4%	43.0%	6.6%	100.0%
イ. ゲイのことを理解できる。	54 人	91 人	44 人	40 人	186 人	27 人	442 人
	12.2%	20.6%	10.0%	9.0%	42.1%	6.1%	100.0%
ウ. バイセクシュアルのことを理解できる。	43 人	77 人	36 人	26 人	233 人	27 人	442 人
	9.7%	17.4%	8.2%	5.9%	52.7%	6.1%	100.0%
エ. トランスジェンダーのことを理解できる。	49 人	71 人	25 人	14 人	255 人	28 人	442 人
	11.1%	16.0%	5.7%	3.2%	57.7%	6.3%	100.0%

LGBTについて

L：(Lesbian、レズビアン) 女性同性愛者

G：(Gay、ゲイ) 男性同性愛者

B：(Bisexual、バイセクシュアル) 両性愛者

T：(Transgender、トランスジェンダー) 生まれたときに法律的・社会的に割り当てられた性別に収まらない性別のあり方を持つ人

■■■■ 「男女共同参画についておたずねします」 ■■■■

[問16] 以前に比べて社会全体で女性の活躍がより進んだと思いますか。

(回答者数 420人)

1. そう思う	144 人	32.6%
2. まあそう思う	197 人	44.6%
3. どちらともいえない	25 人	5.7%
4. あまりそう思わない	25 人	5.7%
5. そう思わない	29 人	6.5%
6. 無回答	22 人	4.9%

[問17] 現在の男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。①～⑧の各項目について、それぞれ1つを選んでください。

	男性が優遇されている	どちらかというとも性が優遇されている	平等である	どちらかというとも性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	無回答	合計
①家庭では	59 人	135 人	139 人	33 人	19 人	32 人	25 人	442 人
	13.3%	30.6%	31.4%	7.5%	4.3%	7.2%	5.7%	100.0%
②職場では	86 人	180 人	82 人	17 人	13 人	38 人	26 人	442 人
	19.5%	40.7%	18.6%	3.8%	2.9%	8.6%	5.9%	100.0%
③学校は	14 人	38 人	254 人	13 人	10 人	81 人	32 人	442 人
	3.2%	8.6%	57.5%	2.9%	2.3%	18.3%	7.2%	100.0%
④地域では	33 人	97 人	164 人	18 人	13 人	92 人	25 人	442 人
	7.5%	21.9%	37.1%	4.1%	2.9%	20.8%	5.7%	100.0%
⑤習慣・しきたりでは	102 人	153 人	83 人	9 人	13 人	54 人	28 人	442 人
	23.1%	34.6%	18.8%	2.0%	2.9%	12.2%	6.4%	100.0%
⑥法律や制度では	47 人	118 人	143 人	23 人	16 人	68 人	27 人	442 人
	10.6%	26.7%	32.4%	5.2%	3.6%	15.4%	6.1%	100.0%
⑦政治・経済への参画	92 人	165 人	99 人	5 人	5 人	51 人	25 人	442 人
	20.8%	37.3%	22.4%	1.1%	1.1%	11.6%	5.7%	100.0%
⑧社会全体で	61 人	195 人	87 人	19 人	10 人	45 人	25 人	442 人
	13.8%	44.1%	19.7%	4.3%	2.3%	10.2%	5.6%	100.0%

[問18] 次にあげる家庭内の仕事について、だれが分担するのが望ましいですか。

①～⑧の各項目について、それぞれ1つを選んでください。

	夫が中心	妻が中心	家族で分担	その他の人	わからない	無回答	合計
①家計の管理	36人	257人	105人	21人	1人	22人	442人
	8.1%	58.1%	23.8%	4.8%	0.2%	5.0%	100.0%
②掃除・洗濯	10人	195人	209人	0人	7人	21人	442人
	2.3%	44.1%	47.3%	0.0%	1.6%	4.7%	100.0%
③食事のしたく	8人	252人	154人	0人	6人	22人	442人
	1.8%	57.0%	34.8%	0.0%	1.4%	5.0%	100.0%
④食事のあとかたづけ	16人	143人	255人	0人	7人	21人	442人
	3.6%	32.3%	57.7%	0.0%	1.6%	4.8%	100.0%
⑤家族の介護や看護	6人	56人	319人	11人	25人	25人	442人
	1.3%	12.6%	72.2%	2.5%	5.7%	5.7%	100.0%
⑥地域行事等への参加	63人	50人	258人	6人	39人	26人	442人
	14.2%	11.3%	58.4%	1.4%	8.8%	5.9%	100.0%
⑦子どもの教育としつけ	12人	92人	285人	0人	21人	32人	442人
	2.7%	20.8%	64.5%	0.0%	4.8%	7.2%	100.0%
⑧乳幼児の世話	4人	200人	182人	1人	20人	35人	442人
	0.9%	45.3%	41.2%	0.2%	4.5%	7.9%	100.0%

[問19] 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたはどのように思いますか。次の中から1つだけ選んでください。  
(回答者数 419人)

1. そう思う	32人	7.2%
2. どちらかといえばそう思う	159人	36.0%
3. どちらかといえばそう思わない	80人	18.1%
4. そう思わない	125人	28.3%
5. わからない	23人	5.2%
6. 無回答	23人	5.2%

[問20] あなたは、男性と女性（の能力）のちがいについてどう思いますか。1～4の各項目について、お考えに近いものをそれぞれ選んでください。

	そう思う	うどちらかといえぼそ	うどちらかといえぼそ	そう思わない	わからない	無回答	合計
①男性と女性では活躍する場が違う	120人	188人	47人	46人	20人	21人	442人
	27.2%	42.5%	10.6%	10.4%	4.5%	4.8%	100.0%
②性による違いではなく個人差があるだけ	104人	180人	48人	36人	53人	21人	442人
	23.5%	40.7%	10.9%	8.1%	12.0%	4.8%	100.0%
③男性の方が能力がある	24人	57人	94人	169人	75人	23人	442人
	5.4%	12.9%	21.3%	38.2%	17.0%	5.2%	100.0%
④女性の方が能力がある	9人	27人	124人	172人	86人	24人	442人
	2.0%	6.1%	28.1%	38.9%	19.5%	5.4%	100.0%

[問21] あなたは、女性が職業を持つことについて、次のうちどれが望ましいと思いますか。

次の中から1つだけ選んでください。

(回答者数 408人)

- |   |      |       |
|---|------|-------|
| 1. 結婚して子どもが生まれても、仕事を続ける                     | 109人 | 24.6% |
| 2. 結婚するまでは仕事をするが、その後はしない                    | 10人  | 2.3%  |
| 3. 結婚してから子どもが生まれるまでは仕事をするが、その後はしない          | 24人  | 5.4%  |
| 4. 子育ての時期は一時仕事をやめて家庭に入り、子どもの手が離れてから再び仕事を続ける | 246人 | 55.7% |
| 5. はじめは職業を持たずに結婚してから、または子育てが終わってから職業を持つ     | 9人   | 2.0%  |
| 6. 女性は職業を持たないほうがよい                          | 10人  | 2.3%  |
| 7. 無回答                                      | 34人  | 7.7%  |

[問22] 女性が長く働き続けることを困難にしている原因と考えられるものはどんなことですか。

次の中から、そう思うものすべてを選んでください。

(総回答件数 1,548人 回答者数 422人 無回答 20人)

1. 出産、育児	350人	22.6%
2. 家族等の介護	210人	13.6%
3. 子どもの教育	107人	6.9%
4. 家事	157人	10.1%
5. 夫、妻の転勤	73人	4.7%
6. 家族等の無理解や反対	99人	6.4%
7. 自分の健康	70人	4.5%
8. 職場での結婚退職、出産退職の慣行や雰囲気	144人	9.3%
9. 保育所の保育時間と就労時間が合わない	193人	12.5%
10. 昇進等の男女の差	47人	3.0%
11. 女性はすぐやめる、労働能力が劣るという考え方	63人	4.1%
12. わからない	24人	1.6%
13. その他	11人	0.7%

[問23] 女性の働き方について、次のうちどれが望ましいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

(回答者数 421人)

1. 仕事は男女の役割があるので、女性でないといけない仕事をするべきである	54人	12.2%
2. 男女同等の仕事をするべきである	36人	8.1%
3. 男性の補助的な仕事をするべきである	2人	0.5%
4. 男女の性別ではなく、能力によって仕事を与えられるべきである	307人	69.4%
5. その他	16人	3.6%
6. よくわからない	6人	1.4%
7. 無回答	21人	4.8%

[問24] は一とビュー（人権交流センター）内に男女共同参画センター（※）の機能が備わっていることを知っていますか。（回答者数 421人）

1. 知っている	21 人	4.8%
2. 知らない	400 人	90.4%
3. 無回答	21 人	4.8%

（※）男女共同参画センターでは女性相談をはじめ、セミナーやイベントを市内のNPO法人など市民公益活動団体と協働で実施します。

[問25] 夫婦間において「平手で打つ」「殴るふりをしておどす」ということが暴力であることを知っていますか。（※）

（回答者数 413人）

1. 知っている	271 人	61.3%
2. 知らない	142 人	32.1%
3. 無回答	29 人	6.6%

（※）夫婦ではなく恋人同士で起きる暴力を「デートDV」といいます。

[問26] DV等女性に対する暴力に関する相談窓口（※）を知っていますか。（回答者数 412人）

1. 知っている	205 人	46.4%
2. 知らない	207 人	46.8%
3. 無回答	30 人	6.8%

（※）人権交流室にて相談を実施しています。必要時、適切な窓口を紹介します。また一時保護等の相談もお受けいたします。

[問27] あなたは「育児参加休暇」（※）を知っていますか。（回答者数 407人）

1. 知っている	260 人	58.8%
2. 知らない	147 人	33.3%
3. 無回答	35 人	7.9%

（※）「育児参加休暇」は産前8週間、産後8週間の間に産まれた子ども、もしくは就学前までの子どもを養育するために、男性職員が5日間分割で取得することができる休暇のこと。

[問28] 男性に質問です。あなたは「育児参加休暇」を取得しましたか。もしくは今後、機会があれば取得したいと思いますか。  
(男性 186人 うち回答者数 169人)

1. そう思う	23人	12.4%
2. どちらかといえばそう思う	38人	20.4%
3. どちらかといえばそう思わない	14人	7.5%
4. そう思わない	29人	15.6%
5. わからない	49人	26.4%
6. その他	16人	8.6%
7. 無回答	17人	9.1%

[問29] あなたには6歳未満の子どもがいますか。  
(回答者数 341人)

1. いる → [問30]へ	32人	7.2%
2. いない → [問31]へ	309人	69.9%
3. 無回答	101人	22.9%

[問30] [問29]で1. いると答えられた方に質問です。  
どのくらい家事・育児に時間をかけていますか。(週7日間の1日平均)  
(回答者数 32人)

1. 30分以内	1人	3.1%
2. 30分～1時間	2人	6.3%
3. 1時間～2時間	6人	18.8%
4. 2時間～3時間	8人	25.0%
5. 3時間～6時間	5人	15.6%
6. 6時間以上	10人	31.2%

[問31] 「松原市男女輝きまちづくり条例」もしくは、男女共同参画施策について、ご意見お聞かせください。  
(自由意見 抜粋)

- ・どのような取り組みをしているか、まったく知らないなので、それを伝える工夫をしてほしい。
- ・システムづくり以上に重要なことはその運用です。システムを生かすも殺すも運用次第、そのための人材育成は？
- ・男性も女性も能力に応じて働けるのが、そして、そこで輝けるのが良いことと思う。
- ・いろいろな意見等に耳を傾けることで住みよい松原市にしていきたい。
- ・女性が働きやすい社会になるよう松原市が先陣を切って動いてほしい。
- ・女性塾にときどき行く。活動内容がよくわかる。
- ・今後いろいろ知識を得ていきたいと思います。

■■■■「自殺予防対策」の参考にするためのアンケートです ■■■■

[問3 2] 日常生活の中で何か悩み事がありますか。 (回答者数 406人)

ア.	1. ある (ある場合は「イ」へ)	126 人	28.5%
	2. ない	280 人	63.4%
	3. 無回答	36 人	8.1%

(あてはまるものに○をつけてください。複数可)

(総回答件数 196人 回答者数 126人)

イ.	1. 健康について	65 人	33.1%
	2. 経済	59 人	30.1%
	3. 家庭問題	39 人	19.9%
	4. 職場環境	17 人	8.7%
	5. その他	16 人	8.2%

[問3 3] 悩んだ時に相談できる人や場所はありますか。 (回答者数 405人)

ア.	1. ある (1. ある 場合は「イ」へ)	332 人	75.1%
	2. ない	73 人	16.5%
	3. 無回答	37 人	8.4%

(あてはまるものに○をつけてください。複数可)

(総回答件数 543人 回答者数 332人)

イ.	1. 家族	267 人	49.2%
	2. 知人、友人	187 人	34.5%
	3. 仕事関係者	36 人	6.6%
	4. 医院、診療所	23 人	4.2%
	5. 民生委員	4 人	0.7%
	6. 市役所や保健所などの公的機関	19 人	3.5%
	7. その他	7 人	1.3%

[問3 4] 「ゲートキーパー」という言葉をご存知ですか。 (回答者数 424人)

	1. 知っている	59 人	13.3%
	2. 知らない	365 人	82.6%
	3. 無回答	18 人	4.1%

[問35] 身近な人から「死にたい」と相談された時にどのように対応しますか。あてはまるものに

○をつけてください。(複数可)

(総回答件数 871人 回答者数 425人)

1. 「死んではいけない」と説得する	108 人	12.4%
2. 「頑張って生きよう」と励ます	92 人	10.6%
3. 「バカな事を考えるな」と叱る	43 人	4.9%
4. ひたすら耳を傾けて聴く	253 人	29.0%
5. 「なぜそのような考えるのか」と理由をたずねる	240 人	27.6%
6. 相談できるところを紹介する	87 人	10.0%
7. 「とにかく病院に行ったほうがいい」と提案する	29 人	3.3%
8. 相談に乗らない、話題を変える	4 人	0.5%
9. その他	15 人	1.7%